

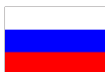
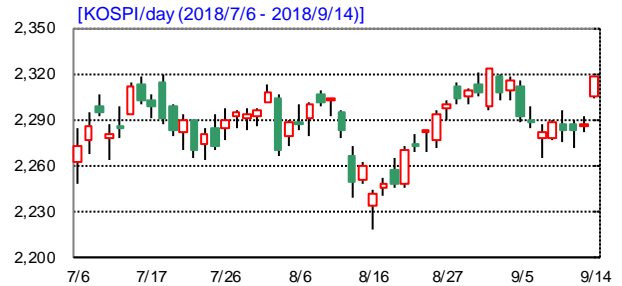


## 【韓国】 総合指数は 1.6%高と反発、米中貿易協議の再開期待から買い優勢か

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 1.6%高と反発した。週明け 10 日は米中貿易摩擦をめぐる警戒感が根強い中、4 日ぶりに反発。11-12 日は持ち高調整の売りが優勢となり、続落した。ムニューシン米財務長官が中国に貿易協議再開を打診したと伝わり、13 日は小幅に反発。14 日はハイテク株が大きく買われ、9 月 4 日以来、8 日ぶりに 2300 ポイント台を回復して取引を終えた。個別では、時価総額が大きいサムスン電子や半導体の SK ハイニックスが米ハイテク株高の流れを受けて大きく上昇。半面、自動車株の現代自動車、起亜自動車が軟調だった。今週は韓国の文在寅大統領が 18-20 日に北朝鮮を訪問し、南北首脳会談が開催される。米国による対中制裁関税第 3 弾（2000 億米ドル分）の発動決定を受けた動きにも注目が集まりそうだ。

### ▼指数チャート

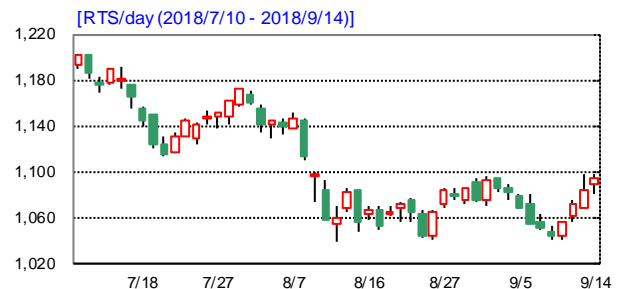


## 【ロシア】 RTS 指数は週間で 4.2%高と大幅反発、今週は経済制裁が重しか

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 4.2%高と大幅反発。原油相場の上昇に加え、通貨ルーブルが大きく反発したことで資金流出懸念が後退した。週明け 10 日はルーブルが対ドルで 2016 年 3 月以来の水準まで下落し、指数は 0.7%安と 6 営業日続落。ただ、11 日以降は原油相場上昇や利上げ観測を背景にルーブルが反発し、指数は 11 日から 14 日まで 4 日続伸となった。米中通商協議の再開期待や極東地域への投資促進に向けた政策検討、天然ガス供給用の新ルートでの中国との合意なども投資家心理を改善させた。西側諸国による対ロ追加経済制裁が懸念される中、米上院がロシアの銀行のドル決済排除に言及しなかったことも安心感につながった。ロシア中銀は 14 日、政策金利を 0.25%引き上げた。今週は対ロ経済制裁問題が重しか。

### ▼指数チャート

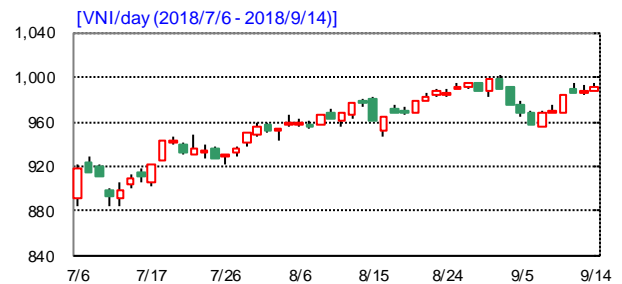


## 【ベトナム】 ベトナム指数は 2.3%高と反発、今週も資金流出懸念の後退が支援に

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 2.3%高と反発。世界的にリスク回避姿勢が和らぐ中、新興国からの資金流出懸念の後退を背景に時価総額上位銘柄の上昇が指数をけん引した。指数は前週 7 日から 14 日まで 6 営業日続伸。トルコ中央銀行が大幅な利上げに踏み切り、リラが下げ止ったことも安心感につながった。前週に大きく売られた保険のパオ・ベト・ホールディングス（10.5%高）や不動産のビンググループ（3.9%高）が大幅に反発。原油相場の上昇を受けてエネルギーのペトロベトナム・ガス（7.6%高）が大幅高となったほか、乳製品メーカーのビナミルク（4.6%高）や金融のベトナム外資銀行（3.2%高）など時価総額上位の銘柄が軒並み高となり、指数を押し上げた。今週は資金流出懸念の後退が引き続き支援となりそうだ。

### ▼指数チャート

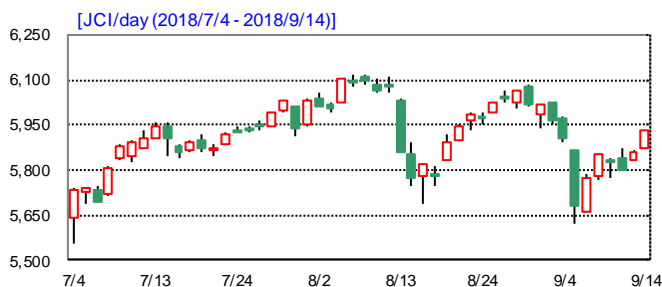


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.4%高、米中貿易協議の再開報道で地合が好転**

ジャカルタ総合指数は4日間の取引で1.4%高と反発。週後半の上昇が指数を押し上げた。10日は前週末のNYダウが下落した流れを引き継ぎ、3営業日ぶりに反落。祝日を挟んだ12日も続落したが、13日は米国が中国に対し貿易摩擦を巡る協議再開を提案したと報じられたことが好感され、指数は終値ベースで前日比1.0%高と反発した。14日は中国が提案を歓迎したことで関係改善への期待感が高まり、さらに1.2%上昇して取引を終えた。今週は17日に発表された8月の貿易収支が赤字だったことを受け、17日に指数は反落した。米国による中国への追加関税の発動表明を受けた動きが今後の焦点になる見通し。

### ▼指数チャート

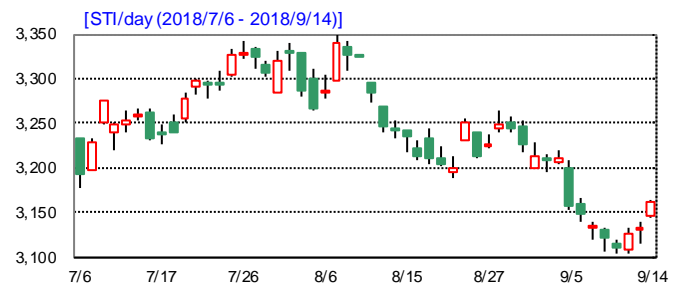


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.9%高、週半ばから3日続伸**

ストレーツタイムズ指数は週間で0.9%高と反発。週半ばからの上昇が指数を支えた。週初の10日は前週末にトランプ米大統領が中国からの輸入品に対する制裁関税の適用範囲を広げる用意があると警告したことや、8月の米雇用統計の好調な内容を受けた利上げペース加速に対する警戒感の広がり指数は下落。11日には終値ベースで17年2月以来の安値を更新したが、12日は反動で買われ、6営業日ぶりに反発した。その後は週末まで3日続伸して引けている。今週は17日に発表された8月の非石油地場輸出が前年同月比5.0%増と前月の11.0%増を下回り、同日の指数は4営業日ぶりに反落した。

### ▼指数チャート

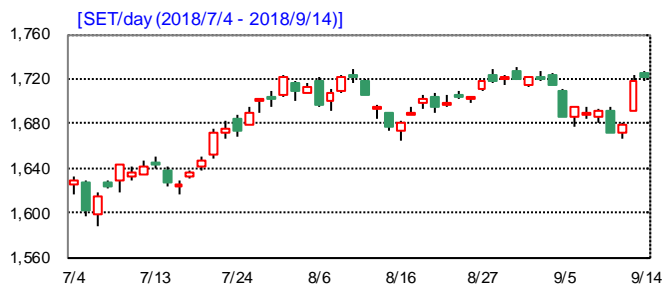


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.9%高、13日に1700ポイント回復**

SET 指数は週間で1.9%高と反発。国内の経済イベントが少ない中、週後半に1700ポイントを回復し上げ幅を広げた。週前半は買い材料に乏しく一進一退の値動きだったが、13日は米中貿易摩擦緩和への期待感から買われ、指数は終値ベースで前日比2.3%高と7営業日ぶりに1700ポイントに到達。14日は中国の8月の鉱工業生産と小売売上が市場予想を上回ったほか、トルコ中央銀行が通貨防衛を目的として政策金利を24.0%に引き上げたことが好感され、続伸して引けた。今週は19日にタイ中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催するほか、21日には8月の貿易統計（通関ベース）が発表される予定。

### ▼指数チャート

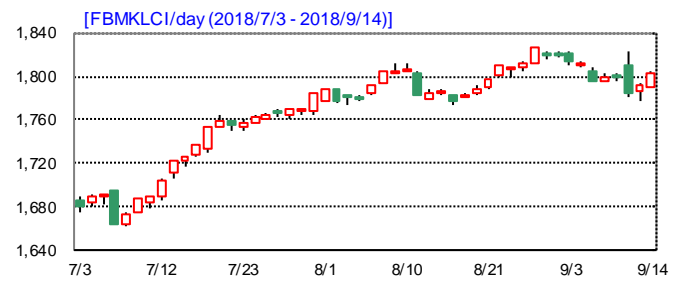


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.3%高、モルガン・スタンレーの投資判断格上げを好感**

クアラルンプール総合指数は3日間の取引で0.3%高と反発。週半ばからの上昇が奏功した。連休明けの12日は場中に米ドル安・リンギ高が進んだことが嫌気され、指数は終値ベースで3営業日ぶりに反落。一方、13日は米中貿易摩擦緩和への期待に加え、7月の小売売上が前年同月比13.3%増と2カ月連続で2桁成長したことを受けて反発した。14日は米モルガン・スタンレーがマレーシア株の投資判断を中位のイコールウエイトに格上げしたことで優良株が買われ、続伸して取引を終えた。今週は19日に8月のCPIが発表される予定。17日はマレーシアの日の振替休日で休場だったため4日間の取引となる。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。